

木村看護教育振興財団 2025 年度助成募集

・海外看護研修助成

■研修先：メイヨークリニック (Mayo Clinic) アメリカ合衆国
ミネソタ州ロチェスター

■応募資格・要件：

- ①日本在住、看護師・助産師・保健師のどれかの資格あり
- ②看護実務経験が5年以上、臨床の現場に従事している
- ③心身共に健康である
- ④所属長（看護部長、病院長またはこれらの役職に相当する人）・所属施設の推薦・海外への渡航許可を得ている
- ⑤TOEIC® Listening & Reading Test 600点以上、TOEFLiBT 61点以上、IELTS 5.0点以上のうちいずれかのスコアをもっていること（2023年9月13日以降のスコアが望ましい）。またはケンブリッジ英語検定のFirst (FCE)、Advanced (CAE)のうちいずれかと資格を取得している

※TOEFLのMy Best Scoresで20点未満のセクションが1つでもあれば、メイヨークリニックによるZoomでの英語インタビューを受ける

※⑤のスコアを2023年9月13日より前に取得した場合は、メイヨークリニックによるZoomでの英語インタビューを受ける可能性がある

※通訳はいない。日常会話と看護専門分野の英語力が必要

■募集人員：8名

■研修期間：2025年9月13日（土）～28日（日）の予定（渡航日含む）

■研修の方法：研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学による研修

■助成金の費用負担：研修費、宿泊費、羽田空港発着の往復渡航費および海外旅行保険費用

※羽田空港―自宅間の往復交通費は対象外

■応募方法・同書類：本財団Webサイトよりダウンロードした「2025年度海外看護研修助成申込書」に必要事項を記入し、「応募資格・要件⑤」に記載している英語力を示すスコア証明書の写しと共に本財団応募書類郵送先へ送る

■申込締切日：2025年1月20日（月）必着（郵送）

選考結果の通知：2025年3月下旬に申込者に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

■研修成果の報告：2025年12月に開催予定の海外看護研修報告会で研修の成果を発表。または、2025年2月27日（木）までに研修の成果をまとめたレポートを提出

■その他：提出された書類は返却しない

- ・メイヨークリニックは、全米屈指の高度急性期医療機関で、幅広い看護研修プログラムを提供するが、公衆衛生看護や地域看護分野は実践的な看護研修の受講が難しい
- ・Nurse Practitioner (NP) は、メイヨークリニックでは看護部ではなく診療部所属のため、NPに関するオブザベーション（臨床見学）はできない可能性が高い

・看護研究助成

■助成対象：看護の質的充実・向上が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究を歓迎

■2025年度助成する研究の分野：基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他

■応募資格・要件：

- ①申込者（共同研究の場合は研究代表者）は、日本在住の看護職者で臨床・地域看護に従事している個人
- ②大学の教員や大学院生は対象外。ただし、大学の教員や大学院生でも、臨床・地域看護に従事している看護職者であれば対象となる
- ③助成決定後、直ちに所属機関等の倫理審査委員会などへの承認申請を行う、またはすでに承認申請中である
- ④関係所属長の推薦がある。医療機関と大学・大学院の両方に所属する場合は、医療機関の所属長が望ましい
- ⑤営利を目的とする研究ではない

■研究期間および助成金執行期間：2025年4月1日～2027年3月31日（2年間）

■助成金額：1件につき100万円が限度。選考委員会の査定を経て決定された助成金額を、助成年度の6月中旬に全額一括支給

■助成金の使途および報告：

- ①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費などを含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外（研究助成費目一覧参照）
- ②助成金の使途は助成対象研究に必要な直接経費に限る。間接経費（研究の実施に伴う研究機関の管理などに必要な経費として、研究者の所属機関が使用する経費）は含まない
- ③助成金の使途については、研究の成果の提出時に本財団所定の様式に領収書などを添えて詳細に報告をする

■応募方法、同書類：本財団Webサイトの「2025年度看護研究助成申込書」（様式1）に必要事項を記入し、次の①～②の書類と共に本財団応募書類郵送先へ送る

①研究計画書（様式2）

②希望助成額の積算内訳（様式3）

※様式1～3および「研究助成費目一覧」は本財団Webサイトよりダウンロード

※様式2の「希望助成額の内訳」および様式3を作成する際は、「研究助成費目一覧」を参照

■申込締切日：2025年1月20日（月）必着（郵送）

選考結果の通知：2025年3月下旬に申込者に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

■研究成果の報告：

- ①原則として、2027年3月31日までに研究論文を学会誌に投稿し、掲載されることにより成果の発表とする。本財団には当該論文（別刷り）と抄録を提出。抄録は本財団Web

INFORMATION

サイトに掲載予定

②上記以外の場合は、上記期間内に本財団に看護研究報告書を提出。当該報告書は、『年次報告書』または本財団のWebサイト、あるいはその両方に掲載。当該報告書の内容は、国の内外を問わず、他の出版物（デジタル媒体を含む）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る

③論文投稿、看護研究報告書の発表方法を問わず、本財団主催の報告会（Web形式を含む）で研究成果の概要を報告

④研究成果を関係学会などに発表する際は、公益財団法人木村看護教育振興財団の助成を受けた研究である旨を明記

■その他：①提出された書類は返却しない

②1993年度～2024年度に本財団の看護研究助成を受けた申込者（グループの場合は代表者）は、選考から除外されることがある

③助成期間中に研究計画の内容を大幅に変更する場合は、変更を実施する前に所定の様式で「研究計画の変更申請書」などを提出し、本財団の承認を得る必要がある

・専門看護師（CNS）奨学金助成

■助成の対象：2024年10月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の14専門看護分野における専門看護師を目指す者のうち、以下の「応募資格・要件①～④」を満たす者

がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護、放射線看護

■応募資格・要件：

①看護系大学院修士課程に在籍し、日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の単位を取得見込みの者

②上記のうち、2025年4月に同課程の最終年次に進級予定であり、2026年3月に同課程を修了する見込みの者

③2026年の専門看護師認定審査申請期間開始日までに、日本看護協会が定める専門看護師認定審査の受験資格を満たす見込みの者

④専門看護師認定審査を必ず受験して資格認定を受け、認定された専門看護分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者

■募集人員：10名

■奨学金の総額：1人あたり70万円。助成年度の6月中旬に前期分として35万円、10月中旬に後期分として35万円を支給する。使途の報告は不要

■応募方法・同書類：本財団Webサイトからダウンロードした「専門看護師奨学金助成申込書」（様式1）に必要事項を記入し、次の①～④の書類と共に応募書類郵送先に送る

①専門看護師としての将来展望、抱負

②指導教員の推薦書（様式2）

③本年度前期または昨年度の成績証明書

④看護実務経験のすべてを証明する書類（様式3）

複数の施設・機関で就業の場合、すべてから証明書を取得

※様式1～3は本財団Webサイトよりダウンロードする

※①の様式は自由。ワープロ1200字程度でA4判に記載

※②③についてはそれぞれ封印されたものを同封する

※④の（様式3）は必要な分を印刷して使用する

※①～④のうち提出できない書類は、理由書を同封する

■申込締切日：2025年1月20日（月）必着（郵送）

■選考結果の通知：2025年3月下旬に申込者に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

■奨学金受給後の報告：奨学金受給後は、各種証明書類を提出する（提出期日は、助成決定後に連絡）

①大学院修士課程、専門看護師教育課程修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

■奨学金の返還：奨学金は原則返還不要。ただし、本財団事務局は、助成年度の4月1日から起算して6年経過するまでに専門看護師の認定を受けなかった者には、奨学金の返還を求めることができる。返還を求められた者は、請求月から起算して24か月以内に奨学金を一括全額返還する

■その他：提出された書類は返却しない

【以下、共通】

■問い合わせおよび応募書類郵送先：公益財団法人木村看護教育振興財団事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 8階

TEL：03-5800-2700 FAX：03-5800-0022

E-mail：kimura-info@nurseed.jp

URL：https://www.nurseed.jp/

第6回日本看護シミュレーションラーニング 学会学術集会

■日時：2025年2月9日（日）

■会場：千葉大学医学部附属病院（千葉市中央区）

■テーマ：つなげる・つながる シミュレーションラーニング

■プログラム：会長講演 臼井いづみ（千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター千葉クリニック・スキルズ・センター）／基調講演「中等教育から卒後教育につながるアクティブラーニング」溝上慎一（学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授）／教育講演「学習者・指導者とともにリフレクションを育み効果的な経験学習につなげる（仮）」保田江美（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部主任研究官）／シンポジウム「つなげる・つながるシミュレーション教育の実践報告」

■参加費：[事前申込] 会員8000円、非会員1万円、[当日受付] 会員1万円、非会員1万2000円、学生2000円

■事前参加登録期間：2025年1月17日（金）まで

■問い合わせ先：学術集会運営事務局
株式会社ユピア

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21

E-mail：jsl6@yupia.net

TEL：052-872-8101 FAX：050-3737-7331

URL：https://janssl6.yupia.net/